

研究主題 **豊かに生きる力の育成**
～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～

1 単元名 「震災復興の願いを実現する政治」

2 単元の目標

我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解するとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。

3 本単元の評価規準とキャリア教育を通して育みたい力（評価規準マトリクス）

高学年の基礎的汎用的能力（夢4）	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人や社会と かかわる力  【人間関係形成・社会形成能力】	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場に立って考え、思いやりをもって行動する力 相手と関わりながらよりよいものを創り上げようとする力 	①政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりについて見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め読み取り、国や地方公共団体の政治の取組を理解している。	①政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見だし、国や地方公共団体の政治の取組について考え、表現している。
自分を みつめる力  【自己理解・自己管理能力】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の長所短所を理解し、自分らしさを発揮する力 自分と異なる意見も理解しようとし、積極的に交流する力 		①我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
課題を やりぬく力  【課題対応能力】	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して自分に今何ができるのかを考え、計画、実践する力 情報や情報手段を主体的に選択し、活用する力 	②調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。	②我が国の政治の働きについて学んだことを振り返り、自分たちの生活場面にあてはめて考えようとしている。
次に つなげる力  【キャリアプランニング能力】	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶこと働くことの意義を理解する力 将来の夢について考え、実現に向けて設計、行動、改善する力 		

※キャリア教育と関連が密接なものはゴシック体・太字

4 部会提案

(1) 児童の実態と単元観

本単元「1. わたしたちの生活と政治」は、小単元「1わたしたちのくらしと日本国憲法」「2国の政治のしくみと選挙」「3震災復興の願いを実現する政治」から構成される。児童は、本単元を通して日本の政治が日本国憲法を基本的な考え方として行われていることや立法、行政、司法の三権がそれぞれ大切な役割を果たしていること、国民の代表者を選出する選挙の重要性などを学ぶ。また、国や地方公共団体の政治が、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを、宮城県の震災復興の様子から理解していく。本時は「3震災復興の願いを実現する政治」の終末にあたる。単元を通して学んできた知識である「人々の願いを実現するために政治があり、日常生活の様々な面に関わっていること」を生かして、本時の課題に対して、自分ならどうするか考えていくことをねらっている。



単元を学習する児童の様子を見てみると、新しい用語の難しさに戸惑う様子が見られたが、日本国憲法を学習する際には、日常生活と結び付けて権利と義務について考えていた。また、税金の種類や使われ方を学習する際には、身近な公共施設等の運営の仕組みを知り、学習を進めていく中で政治への関心が高まっている。また、5月中旬には社会科見学で国会議事堂を見学し、直接見たり聞いたりすることで、理解を深めていた。単元を終える頃には、日本の政治の仕組みについて知った上で、日常生活の様々な課題に対して、自分は何ができるかを考え実行する力の伸長をねらっていききたい。

(2) 高学年の目指す児童像






実現 (realization)

努力を重ね、「なりたい自分」に近づく子ども

(3) 目指す児童像を実現するための手だてと関連する夢4

<p>【手だて1】：みんなの願いを実現させるためには、様々な人の声を聞き、それぞれの立場に立って願いを考える必要があることを理解させるために。</p> <p>○学習展開の工夫</p> <p>初めに新しい公園についての自分の考えをもち、交流を通して考えを広げ、その後「市民の意見」を知るという学習展開とした。自分の考えの中に、「様々な立場の視点での願い」が出てこなかった場合でも、交流や「市民の意見」の提示により、それぞれの立場に立って考える必要性が感じられるように工夫した。</p> <p>○話題の工夫</p> <p>公園づくりという具体的な事例を通して考えることにより、自分中心の狭い視点から、様々な立場を含む視点の広がりを実感できると考えた。公園の中に何を設置するかを取捨選択しながら話し合う中で、全てを叶えることはできないがより多数の人の幸せを追求していく必要性を感じさせる。</p>	<p>【夢4】</p> 
<p>【手だて2】：生活と政治の関連を意識させるために</p> <p>○社会科見学での体験</p> <p>国会議事堂を見学し、国の方向性を決める議会の重みを感じると共に、町田から選出された国会議員との対面を通して、自分たち国民を代表して国会の場で話し合っていることを実感し、より政治を身近に感じられる契機とした。</p> <p>○日常生活との関連付け</p> <p>政治や日本国憲法、選挙の働きを学んでいる最中に、日常生活の様々な面でその働きが生きていることを意識できるように声掛けを続けている。例えば、統一地方選挙が行われた際には、その仕組みについて話したり、大雨や地震などの災害がニュースになった際には、避難所開設が誰の手によって行われているかを考えさせたりしている。</p>	<p>【夢4】</p> 

5 指導計画（全7時間）

		学習内容	主な学習活動	◆指導上の留意点	【評価規準】 基礎的・汎用的能力
学習課題をつかむ	1	東日本大震災の発生とまちの人たちの願いについて話し合い、学習問題を考え表現する。	○震災直後と現在のまちや漁港の様子を比べて、気付いたことを話し合う。 ○被災した人々の願いを実現するためにどうしたらよいか話し合い、学習問題を作る。	◆震災直後と現在のまちや気仙沼の漁港の様子を比較して、違いを考えさせる。 ◆被災した人々の願いの資料を読み取らせ、人々の願いを実現する政治の働きに関心をもたせる。 ◆ <u>人々の願いを実現するための政治の働きについて理解させる。</u>	【思・判・表①】 【主①】  
	2	東日本大震災発生直後の、市や県、国の取組について資料から読み取り、相互に協力し合っていることについて理解する。	○震災直後の市の取組について調べる。 ○震災直後の県の取組について調べる。 ○震災直後の国の取組について調べる。	◆写真資料をもとに、市の取組を具体的に捉えさせる。 ◆「災害から人々を助ける政治の働き」の関係図をもとに、国、県、市が法律に基づいて、連携、協力して緊急事態に対応していることを捉えさせる。 ◆ <u>国、県、市が協力して緊急事態に対応していることを理解させる。</u>	【知・技①】 
調べる	3	復旧・復興の取組は、国の政治の働きによるものであることを理解する。	○災害からの復旧に向けた国の取組を調べる。 ○災害からの復興に向けた国の取組を調べる。	◆年表をもとにして、予算や法律などの政治の働きを時間的に捉えさせる。 ◆「復旧・復興に向けた政治の働き」の図をもとに、予算や法律に基づいた具体的な取組を読み取らせる。 ◆ <u>国の政治の働きが、人々の暮らしをよくするために役立っていることを理解させる。</u>	【知・技①】 
	4	復興に向けて市や市民はどのような取組をしたのか理解する。	○市や市民の取組について調べる。	◆年表や市役所の方の話をもとに、復興に向け市がどのような取組を行ってきたのか、具体的に捉えさせる。 ◆漁港の方の話から、震災から立ち上がり、復興に向かう人々の姿を捉えさせる。 ◆ <u>震災復興は、役所も含めた人々の協力により行われていることを理解させる。</u>	【知・技①】 

	5	気仙沼のまちづくりの課題をとらえ、これからのまちづくりについて考える。	<p>○復興を進めている被災地で、現在課題になっていることを調べる。</p> <p>○現在、どのような取組が行われているのかを調べる。</p>	<p>◆現在も課題があることを捉えさせる。</p> <p>◆市や市役所が協力してまちづくりをしていることを捉えさせる。</p> <p>◆<u>震災復興は、役所も含めた人々の協力により行われていることを理解させる。</u></p>	<p>【知・技①】</p> 
まとめ	6	学習問題について調べたことを表にまとめ、自分の考えを表現する。	<p>○災害にあった人々の願いと、政治の働きについて、表に整理する。</p> <p>○まちづくりを進めていくうえで大切なことは何か、自分の考えを書く。</p>	<p>◆東日本大震災からの復興には、たくさんの人々が関わっていること、復興は国民の願いでもあることに気付かせる。</p> <p>◆<u>震災復興は、国や自治体と人々が協力して行われており、現在進行形で行われていることを理解させる。</u></p>	<p>【知・技②】</p> <p>【思・判・表②】</p> 
いかす	7 (本時)	公園に対するいろいろな立場の人の願いを考え、それらの意見を尊重しながらどのような公園をついたらよいか話し合い、主体的に考える。	<p>○どのような公園がよいのか、自分の願いを出し合う。</p> <p>○いろいろな立場の人の願いを知り、それぞれの意見を尊重しながら公園づくりについて考える。</p> <p>○多様な意見をまとめるために、どのようなことに気を付けるべきか考える。</p>	<p>◆子どもやお年よりなど、いろいろな人が、公園に対してどのような願いをもっているかを考えさせる。</p> <p>◆<u>みんなの願いを実現させるためには、様々な人の声を聞き、それぞれの立場に立って願いを考える必要があることを理解させる。</u></p>	<p>【主②】</p> 

※波線はキャリア教育の視点

6 本時の学習（7時間扱いの7時間目）

(1) 本時の目標

公園に対するいろいろな立場の人の願いを考え、それらの意見を尊重しながらどのような公園をつくったらよいか話し合い、主体的に考えようとする態度を養う。

(2) キャリア教育の重点

◎みんなの願いを実現させるためには、様々な人の声を聞き、それぞれの立場に立って願いを考える必要があることを理解させる学習を通して、課題に対して、自分が今、何ができるかを考え、計画・実践する力を育む。【課題対応能力】

(3) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 5分	1 本時のめあてを知り、学習の見通しをもつ。	・スライド資料	○スライドをもとに学習の見通しをもたせる。
展開 35分	2 自分の意見を、根拠をもって表現する。 ・たくさんの遊具が欲しい。 遊具がたくさんあると嬉しいから ・大きい広場が欲しい。 野球を公園でやりたいから。 ・犬の遊び場が欲しい。 犬をたくさん遊ばせたいから。	・個人での作業	○意見と根拠を分けられるように指導する。
	3 意見の交流を行う。	・ペアでの交流 →全体での交流	○意見を交流することで考えを広げていく。(拡散的な話し合い活動)
まとめ 5分	4 「市民の意見」を知り、自分たちの意見と比べる。 ・近くに住む住人 違法駐車や騒音が不安だ。 ・高齢者 段差をきつくしないでほしい。 ・乳幼児がいる家庭 安全であってほしい。自然豊かな公園がいい。 ・市役所 できるだけ多くの人々の意見を聞き、優先順位を考えて、少しでも多くの人々の意見を反映したい。	・スライド資料	○地域の人の公園づくりに対する思いを紹介し、自分たちの意見と比較させる。また、市役所の人々の思いも紹介し、全てのことを叶えることは難しいことに気付かせる。 ○みんなの願いを実現させるためには、様々な人の声を聞き、それぞれの立場に立って願いを考える必要があることを理解させる。
	5 新しい公園を考える。 以下の中から5つ選ぶ ・遊具① (ジャングルジム、すべり台) ・遊具② (ブランコ、鉄棒) ・広場 ・ドッグラン ・駐車場 ・花壇 ・公衆トイレ、多目的トイレ ・砂場	・班での作業 (ワークシート)	○班でテーマを決めさせ、公園を考えさせていく。 ○2で出たものも場合によっては追加する。 ○5つしか入れられない理由として、市の予算や敷地面積の関係があることを伝える。 ●公園に対するいろいろな立場の人の願いを考え、それらの意見を尊重しながらどのような公園をつくったらよいか話し合い、主体的に考えようとしている。
	6 意見の交流を行い、学習感想を書く。		【主②】



様々な人の意見を取り入れ、新しい公園を作ろう。

※波線はキャリア教育の視点

7 板書計画

○わたしたちの生活と政治

様々な人の意見を取り入れ、新しい公園を作ろう。

(スクリーン)

8 実践を終えて

成果

- ・単元を通して政治に対する関心が高まり、人々の願いを実現するために政治があり、日常生活の様々な面に関わっていることへの理解が深まった。日常のふとした場面においても、政治の役割を意識する発言などが見られるようになった。
- ・キャリアの視点である「課題に対して、自分が今、何ができるかを考え、計画・実践する力」について他の活動でも意識する様子が見られた。例えば南一フェスティバルにおいて、リハーサルの際に見えた遊びの安全性や客の導線などの課題を、どのように解決すればよいか考える様子が見られたり、林間学校に向けて室長などの自身の役割をどのようにこなしていくか考える様子が見られたり、と「課題対応能力」が成長した様子が見られる。

課題

- ・本時では、「様々な人の意見を取り入れ、新しい公園を作ろう。」という架空の公園について考えた。例えば、総合的な学習の時間などに関連させて、市役所の人に公園を作る際に実際に配慮していることをインタビューしたり、市内の新たな公園の計画を伺ったり、身近さを感じさせることで、より主体的に取り組めるようになり、新たな課題に向かう姿勢が育まれ、課題対応力の更なる慎重につながられたらと思う。